

# かわむらこどもクリニックNEWS

Volume 10 No 04

105号

平成14年 4月 1日

かわむらこどもクリニック 022-271-5255 HOMEPAGE <http://www.kodomo-clinic.or.jp/>

## お父さんの背中

院長

先月の一面記事は、「お母さんの顔」でした。今回は、お父さんの話題を取り上げたいと思います。

3月26日に、2001年度の国民生活白書が、発表されました。サラリーマン家庭で働く妻は育児などに追われ低収入のパートタイムが多く、夫は就業時間が長いため私生活が充実させにくいと分析されています。また、最も大きな問題として少子化が取り上げられ、様々な改善策が提言されています。夫の育児などの家事参加のため、フレックスタイム制充実など企業側の理解が求められることも示されています。

先日精神科の先生の講演会で、子どもたちの問題には母親だけでなく、父親と家族関係が大きく影響を及ぼしていることを聞きました。母親の顔が子どもに大きな影響を与えることを示しましたが、父親の顔も全く同じです。ところが、父親には子どもの顔の見える余裕がありません。時間的余裕のためには社会や企業が理解を示し、父親が育児に参加できるような体制をとることが必要です。しかし、なかなか難しいのが現実です。父親が育児休暇を取れる制度もありますが、昇進などの将来的な問題などから、断念していることがほとんどだと思います。実際には父親の育児参加は難しく、父親の顔は益々遠くなってしまいます。

それでは、父親は子どもに何を見せればよいのでしょうか。昔から「子どもは父親の背中を見て育つ」という言葉があります。この言葉の裏には、家庭は母親に任せて男というものは家庭を犠牲にしても会社のため働くのが美学という意識があったかもしれません。この美学は時代遅れの感があり、結局子どもに背を向けることだったのかもしれませんが。しかし現在は状況が変わり、単に背中を見せるだけでは済まなくなってきているのです。最近、家庭の中における父親の存在が小さくなったと言われます。本来の父親というのは、家庭の中では、でんと構えて、外では家庭を支えるためにしっかり働くというのが理想的です。

見せる背中が小さければ、役割が果たせません。背中を

大きく見せるためには、どうすればよいのでしょうか。一番大事なことは、父親としての自覚を持つことです。自分が家庭を支えていると思うことなのです。そして仕事自体が、社会に貢献しているという自信を持つことです。子どもに顔を見せることよりもずっと大事なことは、家庭を安定させることだと思います。大きな背中をもつ父親を中心に、家庭が築かれていくのです。安定した家庭には笑いがあふれ、母親にも余裕が出てきます。夫婦が仲良く、そして余裕が生まれれば、子どもにもいい影響を与えるのに違いありません。しかし、喧嘩ばかり、ろくに口もきかない、時間があればゲームばかり、揚げ句の果てに暴力を振るうでは、家庭の意味がなくなってしまいます。「機能不全家族」という言葉を知っていますか。父親には父親、母親には母親、お爺ちゃんにはお爺ちゃん、お婆ちゃんにはお婆ちゃん、それぞれの役割があるのです。その役割が果たせない家族が増えてきているのです。機能不全家族では、子どもたちに様々な影響が出ると言われます。そして、今話題になっているような子どもたちの精神的な問題の根が、機能不全家族にあるとの指摘もあります。



今回の文章には誤解される要素があるので、少し補足しておきます。父親が育児参加しなくても良いといっているのではありません。余裕があれば、どんどん育児に参加して手伝ってあげてください。また父親という言葉が強調されていますが、父親でなくても構わないのです。家庭を支えているのが母親であれば、母親の背中ということにもなります。育児においては、男女の差は必要のないものと思います。しかし父親・母親という言葉は単なる男女の意味ではなく、それぞれ父親・母親の本当の意味が大切であることを、知って欲しいと思います。

仕事を放棄してまでの育児参加は、正しい姿ではありません。家庭を支え、仕事を通して社会貢献しているという、大きな父親の背中を見せてあげてください。そして家族というものを、もう一度考えてみましょう。

4月のお知らせ

- ・栄養育児相談
- 毎週水曜日 13:30~
- 栄養士担当 参加無料

御入園・御入学 おめでとうございます

お陰様で『かわむらこどもクリニックNEWS』は、昨年11月で100号になりました。創刊100号記念誌として1冊の本にまとめました。待合室に設置しましたので、御自由に御覧下さい。

内容は1号から100号までのNEWS、当院の理念や歴史、ホームページの紹介、業績などが載せてあります。若干、残部があります。必要な方には、実費でお譲りいたします。必要な方は受付まで、お申し出下さい。

## 読者の広場

先月も、30件以上のメールを頂きました。ありがとうございました。今月はお知らせが多いので、一つだけ、泉区の遠藤さんからメールを紹介しします。発熱が続き、紹介で入院したお子さんです。入院した日、そして退院した日にまで、メールを頂きました。「もう、ご存じかと思いますが、先生の診断の通り川崎病でした。なんの知識もなく、風邪のちょっとひどいくらいしか捉えてなかった私には、あまりにも酷な病気でした...今はただただ、病状が軽くなる事を祈るばかりです。機嫌の良かった清香も毎日の点滴と病状のせいで食欲もない状態です。ですが、マイナスな事ばかり考えずに頑張ろうと思います。国立病院の先生や看護婦さんにはよくしてもらっています。川村先生ありがとうございました。つかの間の休憩でこれからまた病室に戻ります。」。入院でパニックになっているときに、わざわざ頂いた携帯からのメールです。入院しないのが、一番なのですが、「先日は病室まで来てくださってありがとうございました！今日、無事退院に至りました(^o^)。この二週間の入院生活は、私と清香にとって、とても意味のあるものでした。共働きのせいだとかたづけたくは、ありませんが、こんなに向き合った生活はなかったから...。入院してから指しゃぶりをしなくなったんですよ！。ずっと、悩みだった指しゃぶりが...やはり、寂しいからだったのでしょうか...。家に帰ってまた始まらないように、見つめていたいと思います。病院から封筒をお預かりしていますので今週中に伺います。」。患者さんが入院した場合は、できる限り入院先を訪れるようにしています。入院後の経過を見ることが勉強になるし、ひょっとしてお母さんの安心も与えられるかもしれないと思っています。入院ということは、家族にとって大変なことです。しかし、今回は病気が治っただけでなく、少し得るものがあった良かつたのかもしれない。「えっ？！新聞ですか？恥ずかしいなあ...でも、先生にお任せします(^.^)。先生の新聞のファンですからどうぞ。今日、退院後初めての検診に行ってきました。明日から保育所に行けるし、なんも心配ないそうです。健康のありがたさを痛感した一月でした。かわむら先生に逢いたいけれど、それは病気を意味するので、しばらくはお会いできないみたいです(元気いっばいの清香です(^.^))それでは失礼します。おやすみなさ)」。掲載承諾のメールも、本当にありがとうございました。



### 新刊書籍の御紹介

小児科医がやさしく教える

赤ちゃん・子どもの病気

定価1,350円(税別)

発行 PHP研究所

日本一の小児科ホームページから生まれた

新しいタイプの育児医学書

序章 先生が教える小児科の上手なかかりかた

第1章 子どものよくかかる病気・早わかり教室

第2章 こんな症状、こんな病気で悩んでいるお母さんへ



| 地区名  | 実施月日  | 曜日 | 実施区域       | 会場          |
|------|-------|----|------------|-------------|
| 青葉区  | 4月15日 | 月  | 北六、小島島、中江  | 区役所保健福祉センター |
|      | 17日   | 水  | 台原、旭ヶ丘     | 区役所保健福祉センター |
|      | 19日   | 金  | 立町、東二      | 区役所4階会議室    |
|      | 24日   | 水  | 北仙台、東六、上杉  | 区役所4階会議室    |
| 宮城野区 | 4月10日 | 水  | 新田、幸町南     | 区役所6階ホール    |
|      | 18日   | 木  | 原町、西山      | 区役所6階ホール    |
|      | 24日   | 水  | 岩切         | 岩切保健センター    |
|      | 26日   | 金  | 鶴ヶ谷        | 鶴ヶ谷市民センター   |
|      | 30日   | 火  | 栢江、幸町      | 区役所6階ホール    |
|      | 5月1日  | 水  | 燕沢、東仙台     | 区役所6階ホール    |
| 泉区   | 4月9日  | 火  | 南光台、南光台東・南 | 区役所東庁舎5階    |
|      | 10日   | 水  | 黒松、旭丘堤、真美沢 | 区役所東庁舎5階    |
|      | 17日   | 水  | 加茂、七北田     | 区役所東庁舎5階    |
|      | 18日   | 木  | 八乙女、鶴ヶ丘    | 区役所東庁舎5階    |

## ポリオ予防接種のお知らせ

今月はポリオの接種があります。年に

2回ですので、該当する方は忘れずに受けるようにして下さい。住所が表に無い方はスタッフまで。詳しい表をお渡ししています。対象者は次の通りです。

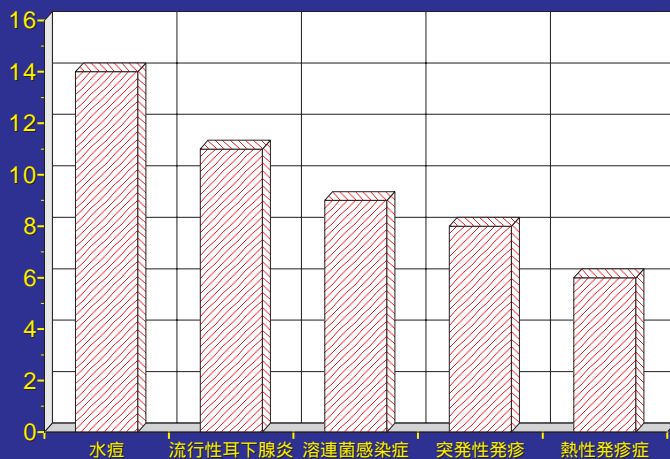
第1回 平成13年7月1日～12月31日生れの児

第2回 平成13年10月に1回目の投与を受けた児

その他 投与を延期していた90ヶ月までの児

院長は、**4月18日(木) 青葉区保健福祉センター**が、**接種担当**ですが、成人のみの担当です。昭和50～52年のお母さん方には、再度接種することをお勧めします。

## 3月の感染症の集計



水痘、おたふくかぜ、溶連菌感染症は、まだ多く見られます。インフルエンザ前半までは多かったのですが、後半になりかなり少なくなってきました。しかしA型が変わって、B型が見られています。家族・兄弟そろっての発熱には、要注意を。また嘔吐下痢症が、多く見られています。ロタウイルスなど、何種類かのウイルスがあるようで、繰り返すお子さんや家族全員ということも珍しくはありません。高熱や嘔吐の場合は、早めの受診を心がけて下さい。

### 編集後記

今年はかなり暖冬でした。インフルエンザも大流行にならず、ほっと一安心です。やっと著作の発売です。この新聞が届くころには、発売されているでしょう。Q&Aがかなり充実しています。個人的な問題にも、対応できていると思っています。まず本屋さんで手に取ってご覧下さい。そして、良ければ買って下さい。お願いしま～す。

